

7月12日(日)都議選

今こそ、くらしを守る都政を

生活が苦しい…
政治を変えてほしい…

お年寄りも、若者も、いつかはこの国は、人間が人間らしく生きるこ
とができなくなってしまうのではないかと。くらしがたいへん、なんと
かして「政治を変えてほしい」と願うみなさんと、党派をこえて力を
あわせて、くらしを守る都政をつくりたい。みなさんのご支援をよろ
しく願っています。

葛飾区・都議会議員予定候補

田村智子

たむらこ

<http://www.tamura-jcp.info/>

●プロフィール●

1965年長野県小諸市生まれ。早稲田大学第一文学部卒。日本民主青年同盟の専従職員、国会議員団事務局、石井郁子衆院議員秘書、井上美代参院議員秘書を経て、現在、党東京都委員会副委員長。家族は夫と1男1女。趣味は合唱、本の読み聞かせ、園芸。

葛飾のまちとくらしを守る

日本共産党の議席を

田村智子さんで取り戻しましょう。

日本共産党・元都議会議員

木村ようじ

田村智子さんは優しく、つよいお母さんです。子どもたちへのあふれる愛情とともに、子どもたちの幸せをこわすことには断固として立ちむかうからです。



しかも、頼もしいことに、田村智子さんの政治家としての能力が、すでに試されずみだということ。国会議員秘書として、8年間の経験があり、30人学級実施のための野党共同提案の法案をまとめたこともあります。人々の幸せのために、いろいろな立場の人々のちからをひとつにまとめることができるという、最も大切な資質をもつ、すぐれたお母さん政治家です。

私は引退して4年たちますが、今回は田村さんの出番です。なんととしても、田村智子さんを、葛飾から都政に送り出してください。

お年よりも、子どもも、若者も、業者も

誰もが人間らしく生きられる都政をつくりましょう

日本共産党 田村智子のお約束



若い人が大事にされる東京を

●「派遣切り」など、人間を使い捨てるやうなやり方をやめさせるよう、大企業や財界に求めていきます。

この2年あまり、「街頭労働相談」にとりくんできました。「私は毎日、がけつぷちの生活」…こんな声を聞くたびに、胸が痛みます。若い人たちが未来に希望がもてる政治をつくるために、がんばります。

子どもの笑い声が絶えないまちに

●小児科・産婦人科の充実を。
●ドロンコ遊びができる保育園を。
●返済なしの奨学金制度を。
●全小中学校で30人学級を。

私は2人の子どもを生み育ててきました。石原都政は、認可保育園整備をおこたり、市立保育園にたいする補助を削ってきました。葛飾の未来をになう子どもたちが、のびのびと成長するために、全力をあげます。

長生きを心から喜べるまちに

●75歳以上の医療費を無料にもどします
●特養老人ホームを増やし、待機者をなくします。

お年寄りの医療費助成も、「シルバーパス」も、石原都政のもとでみんな切り捨てられました。長生きを喜べないというのは、なんと切なく悲しいことでしょう。人生の最後まで人間として大切にされる東京をつくりたい。

1800通のアンケート
ご協力ありがとうございました

くらしが
苦しくなった **69%**

政治にのぞむこと

- 1位 **高齢者福祉 49%**
- 2位 **医療の充実 42%**
- 3位 **子育て支援 28%**

アンケートに寄せられた声より

後期高齢者などと区別され、早く死ねと言われていたようで不愉快である。人生は年齢ではない。「心意気」である。(70代男性)

私たちが子どものころは、もっと自由にいろんな所で遊んだり周囲の目が温かくて安心して生活できました。そんな世の中に戻ってほしいです。(30代女性)

働くために東京に出てきたのに、5ヶ月の就職活動で、やっとつけた仕事も今月でやめることになりました。常に明日の生活に不安を抱いています。働きたい。(20代女性)

大きな薬屋さんが、薬だけでなく、何でも売っているのだから、**小さな商店は店を閉じて、大半が困っている。**これで日本がやっていくのか。(60代男性)

この4年間、葛飾選出の都議は 都政ではオール与党 自民党・民主党・公明党 に独占されて…

知事提案に みんな賛成

- 都民に冷たく
「マル福」(老人医療費助成)廃止
寝たきり手当て廃止
特養老人ホーム補助金カット
ムダづかい
- 1メートル1億円の巨大大道
●新銀行に1000億円出資

●自民党の人は…
税金使った「海外視察」で、フランス、エジプト…

自民党の都議の人は、07年10月に、228万円(二人あたり)かけて、エジプト、マドリッド、フランスへ。専用車で丸二日かけて世界遺産のモン・サン・ミッシェルを観光。この視察の「団長」も勤め、「誰もが積極的に視察にでかけるべき」と反省なし。

●公明党の人は…
30人学級を公約しておきながら、「サッカーの試合もできない」と反対

公明党の都議の人は、三十人学級の要望にたいして、前には公約していたのに、「サッカーの試合もできない、ドッジボールもできない」(04年6月)と反対しました。

●民主党の人は…
東京都の提案に99.3%賛成

民主党は、「石原野党」を強調していますが、この4年間で、都が提案した1149件のうち、反対したのはわずか8件。まぎれもない「与党」です。都民をあざむくやり方ではないでしょうか。

この人たちで、葛飾区民の声は都政に届くでしょうか…?

日本共産党

葛飾から

たむら

ともこ

田村智子

都議団に

が加われば

願いにこたえる力が

パワーアップ

福祉、医療、教育をたてなおす力

- 日本共産党が与党だった革新都政時代、老人医療費の無料化が東京から全国に広がりました。
- 都立小児病院の存続では、採決で1票差まで追い込みました。
- 田村智子さんには、国会議員秘書時代、30人学級の野党共同提案をまとめた実績があります。

ムダづかいをなくす力

- 1メートル約1億円の「外郭環状道路」などのムダづかいに反対し、くらし優先の都政を求めてきました。
- 1人平均189万円の豪華「海外視察」を一貫して批判。

都民と力をあわせて都政を動かす力

- 日本共産党が提案した都内全域での中学校3年生までの医療費無料化。自民、公明、民主が否決し続ける中で、今年10月から実施。
- 24万人の署名運動と力をあわせて、30人学級を要求。都も「重く受け止める」。
- 「待機児童をなくして」の世論を背景に、認可保育園を6500人分増やすことになりました。

いまの政治に

不満 91%

自民党、民主党に

ちがいが 67%

朝日新聞世論調査より

草の根の力——党区議団、支部とともにがんばります

5人の日本共産党区議会議員団、地域や職場の党支部は、日本共産党の「草の根の力」です。田村智子さんは、これとしっかりスクラムを組み、区民の願い実現へ全力をあげています。昨年も、北総鉄道の高額な運賃の引き下げをもとめて、区議団とともに、京成電鉄と交渉。実現まであと一步と迫っています。バスについても、平井、押上、浅草方面の新規路線の検討、区民の要望にそった新たなバス停の設置などを要求しています。

左から中村しんご、野島英夫区議会議員、おりかさ明実市民運動部長、中江秀夫区議会議員、新井杉生党17区国政相談室長、田村智子都議予定候補、渡辺キヨ子前区議会議員、渡辺好枝区議会議員、仙波稔中小企業対策室長、三小田准一区議会議員

